

# あすなる 翌檜新聞



志 寔 録

第1号  
2021.2.10  
第75代  
伊敷中生徒会



# Pride of 伊敷

## 3学期も昨日の自分を毎日超える

第75代生徒会が動き始めて二か月が過ぎました。みなさんは後期の専門班も始まり、毎日活動していると



寒い朝でも元気に挨拶運動に励む班長たち

思います。第75代生徒会のスローガンは「Pride of 伊敷〜昨日の自分を毎日超える〜」です。

伊敷中は生徒会活動が盛んな学校です。盛んな生徒会活動が受け継がれているのは、これまでの先輩たちが三大伝統や一人一役を大事にしてきたからです。これまで受け継がれてきた伝統や生徒会活動に誇りをもって活動する生徒会を創りたいという思いが込められています。

また、サプスローガンは「昨日の自分を毎日超える」です。誇りをもつためには、周りの誰かと自分を比べるのではなく、昨日の自分と今日の自分を見つめることが大事だと考えました。自分にはできない、自分がしているという自信を誇りに変えていきましょう。

伊敷中生として誇り(プライド)をもって、地域や社会に誇れる学校を創っていくように、これから生徒全員でこのスローガンを大事にしていきましょう。(皆倉 甫光)

### 読者の輪が広がる新聞

#### 翌檜新聞三席受賞

南日本新聞社主催「学校

## 伊敷の魅力再発見！をめぐって

### 翌檜新聞コンセプト

翌檜新聞も第75代となりました。第75代翌檜新聞のコンセプトは「伊敷の魅力再発見」。

伊敷中にはたくさんの方がいます。例えば、三大伝統が代々受け継がれて

いることも魅力の一つです。多くの行事に精一杯取り組む生徒の姿も伊敷中の魅力です。私たちが当たり前に過ごしている学校生活の中にはたくさんの方がいます。でも、当たり前に取り組んでいて、その魅力に気付いていないことも多い

私たちが伊敷中の魅力を再発見し、皆さんが伊敷中に誇りをもっていられたらと思います。みなさんも取り上げてほしい記事がありましたら、翌檜部員へお知らせください。第75代翌檜新聞もご愛読よろしくお願ひします。(芹ヶ野 結惟)



第75代翌檜部員



学校新聞コンクール表彰式(南日本新聞社)

新聞コンクール」において、伊敷中学校生徒会「翌檜新聞」が三席を受賞しました。第74代広報部部長宮ノ前那海さんは「毎月の発行は大変だったが、三席をとることができてうれしい。行事だけでなく、伊敷中ならではのことや郷土、社会について記事を入れることで、第74代のコンセプトである

「読者の輪が広がる新聞」を発行できたと思う。協力してくださったみなさん、ありがとうございます。」と受賞の喜びを話していました。また、翌檜部員がよりよい新聞を目指している、これからの愛読してほしいと話していました。第75代翌檜新聞もよりよい新聞作りを目指します。で、よろしくお願ひいたします。(武 大叶)

### 校外ボランティア

#### 赤い羽根共同募金

12月19日(土)にアミュ



募金活動をする生徒会役員



伊敷中生も募金をしてくれました。(田代 紅愛)

プラザ鹿児島交番前で生徒会役員による赤い羽根共同募金が、行われました。寒い中、たくさんの方が募金をしてくださり、心が温かくなりました。

集まった募金は地域福祉や子育て支援などの活動に役立てられます。伊敷中学校でも赤い羽根の募金が行われました。ネットを通じて募金したり、購入代金の一部が赤い羽根募金に寄付される「寄付付き商品」を買ったりするなど、様々な募金する方法があるので、皆さんもぜひ参加してみてください。(田代 紅愛)

### 生徒会の窓

みなさんは、自分にプライドを誇っていますか。第75代生徒会スローガンは「Pride of 伊敷」。

「プライド」という言葉には誇りや自尊心、自負心という意味があります。プライドをもつためには、「自分自身の存在を認め、好きであること」が大事なのだと思います。でもそれは何となくできることではなく、難しく感じる人もいます。僕もその一人です。

みなさんはサッカーのダン監督を知っていますか。彼の言葉に「プライドのあるチームは、プライドのないチームよりもいいプレーをする。」というものがあります。世界のトップを経験した選手が、プライドは飛躍への一歩であると語っているのです。これを自分たちに当てはめてみると「プライドのある学校はプライドのない学校よりもいい学校生活を送れる」ということです。

まずは自分自身のことを好きになり、大切に思うということ。自分のことを大切にできる人はきっと他の人のことも大切にできるはずです。

自分のよさや相手のよさを認め合いながら、自分たちにプライドをもって学校生活を送っていきましょう。(峯古 泰志)

2021年が始まり一か月が経ちました。みなさんは、2021年の目標を立てましたか。生徒会役員の目標を一文字で表しましたので紹介します。

**本部**

- 生徒会長 峯 苦 泰志
- 生徒会副会長 町 田 歩 未
- 新 地 勇 太
- 田 代 紅 愛
- 書 記 田 代 紅 愛
- 皆 倉 甫 洸
- 鈞 田 結 月
- 会 計 永 田 優 李

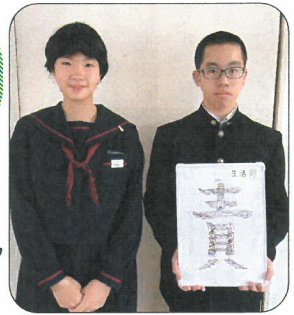


75代生徒会のキーワードは「誇り」。スローガンにもあるワードです。みんなが誇れる伊敷中を生徒全員で創るため、私たちも誇りをもって頑張ります。

**誇**

**生活部**

- 部長 皇 添 史 彬
- 副部長 馬 場 口 彩 音



全校生徒が自分の仕事に責任をもって行動できるように学校にしていきたいです。

**責**

**美化部**

- 部長 末 永 蓮
- 副部長 木 場 末 星 乃

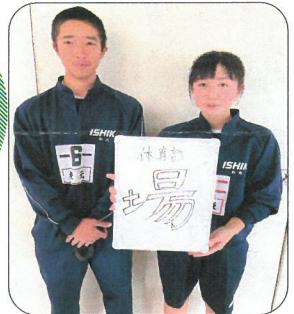


美化部として学校全体を綺麗に変えていきたいです。最近では教室内のゴミが少し減ってはいるものの、まだまだ完全とは言えないので、清掃活動のご協力をお願いします。

**変**

**体育部**

- 部長 肥 後 美 希
- 副部長 松 元 琉 心

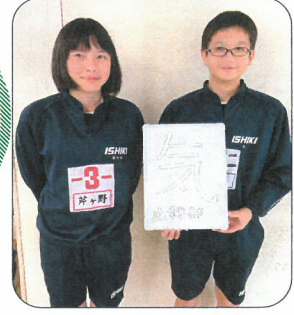


その場その場に合った行動を心掛けていきたいと思えます。

**場**

**広報部**

- 部長 武 大 叶
- 副部長 芹 ヶ 野 結 惟



気持ちのこもった元気なあいさつを心掛けて、伊敷中を明るい学校にしたいと思います。

**気**

2021年をプライドをもって生徒会は頑張ります!

**庶務部**

- 部長 下 園 秋 乃
- 副部長 宮 下 蓮



伊敷中生みんなが楽しいと思える学校にするために、まずは私たちから生徒会活動を楽しみたいです。

**楽**

**図書部**

- 部長 中 村 陽 菜
- 副部長 楠 本 悠 斗



図書部になってからみんなに協力してもらおう活動が増えました!

**協**

**保健部**

- 部長 徳 満 陽 香
- 副部長 東 凜 太 郎

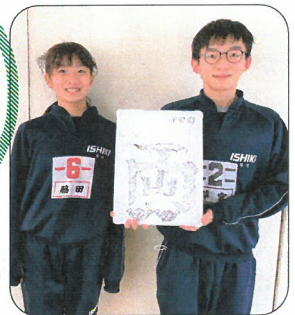


これから活動に協力してもらう全校生徒のみなさん、お世話になる先生方や生徒会役員に感謝の気持ちをもって活動したいです。

**感**

**学習部**

- 部長 草 宮 廣 太 郎
- 副部長 脇 田 萌 羽



生徒会役員として、部活や学習と生徒会活動の両立に努めたいと思います。みなさんも勉強と自分の仕事の両立を意識してみてください。

**両**

**卒業テストを終えて**

**3年生の思い**

1月12日(火)から14日(木)の三日間、3年生は卒業テストが行われました。3年生にとっては、中学校最後の大切なテストでした。3年3組の山口結加さんに卒業テストを終えての思いを語ってもらいました。

中学校最後の定期テストが終わりしました。3年生みんなが気合を入れて取り組んだのではないのでしょうか。私は卒業テストが始まる二週間前から朝は5時に起きてテスト勉強をするという目標を立て、学習計画を作りました。目標を立てたときはやる気に満ちていました。しかし、朝5時になかなか起きられず、あと5分...あと5分...という日々。そこで、これではいけないと計画を見直し、学習内容の優先順位と時間配分を修正しました。各教科に集中して取り組むことで入試に向けての勉強を進めながらも、実技教科にも力を入れることができたのではないかと思います。

次は最終テストである入試。今まで取り組んできた成果を出せるよう、悔いのない勉強をしていきたいです。

3年生は私立高校の入試を終え、3月には公立高校

の入試を迎えます。これまで頑張ってきた自分を信じて、精一杯頑張ってください。

また、1、2年生は学年末テストが終わりました。この三学期は、次の学年の0(ゼロ)学期と言われる大切な学期です。今の学年のまとめをしっかりできるようにしていきましょう。

(武 大叶)



テスト前に自習に臨む真剣な伊敷中学生

**編集後記**

第75代翌檜新聞をようやく発行することができました。いかがだったでしょうか。第75代翌檜新聞のコンセプトは、「伊敷の魅力を見直し、再発見」。伊敷中や伊敷地域の魅力を再発見できるような記事を取り上げていきたいと思っています。取り上げてほしい記事があるときには翌檜部員へお知らせください。よろしくお願いたします。

(武 大叶)